

eレファレンス・システムー1タイトルから購入可能な eBook レファレンスー

# Gale Virtual Reference Library

## GVRL とは？

GVRL はインターネットの中にあるバーチャル図書館です。

- ① インターネットの中に仮想の「本棚」を設置
- ② 本棚に eBook として購入したレファレンスを並べます。
- ③ インターネットを介して本棚のレファレンスを閲覧します。
- ④ 調べたいキーワードについてご購入レファレンス内での横断検索が可能です。

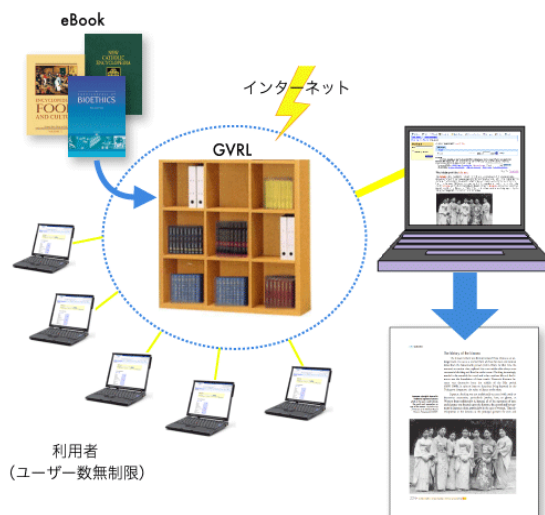
## 充実した収録レファレンス

Gale Group をはじめ、Sage、Wiley、Elsevier など世界的に定評のある出版社のレファレンスから、文学・宗教・哲学・教育・医学・法律・芸術など、幅広い分野にわたる約 3,200 タイトル以上(2010 年 1 月現在)を取り揃えております。

### ■ Gale Group

(Macmillan Reference / Charles Scribner's Sons など)

### ■ Wiley / SAGE / Cambridge University Press / Springer / Elsevier 他



同時アクセス無制限のバーチャル書棚

## 機能概要

- ① キーワード検索：必要な記事だけをピックアップ可能  
ご所蔵の全タイトルから必要な記事・キーワードを抽出することができます。
- ② 翻訳機能：レファレンスのテキストを、日本語をはじめ 8 種類の言語に翻訳できます。
- ③ HTML と PDF の両方で表示が可能：PDF で表示すれば冊子体と同じレイアウトです。
- ④ 引用書式の自動生成：RefWorks など文献管理ソフトへのエクスポートも可能
- ⑤ 印刷・ダウンロード機能：レファレンスのお好きなページを印刷・ダウンロードが可能です。

## GVRL の料金体系

GVRL のご利用に必要な費用は 2 種類です

■ **基本使用料(年間)**: 検索機能、翻訳機能を含む様々な GVRL の機能をご利用いただくための料金で、年間契約となります。新規契約時を 1 回目とし、毎年の更新時にお支払いいただきます。

■ **eBook 購入費(買い切り)**: 1 タイトルからご購入可能です。冊子体と同様にタイトルごとに価格がつけられており、費用負担もご購入時のみです。FTE (学生数 + 教職員数) によって価格は異なります。

★価格・詳細は弊社までお問い合わせください

無料トライアル実施中!! レファレンスの新しい可能性をお試ください

日本販売代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS  
KYOKUTO SHOTEN LTD

P.O. Box 72, Kanda, Tokyo 101-8672, JAPAN

〒101-8672 東京都千代田区神田神保町 2-12 安富ビル  
〒530-0047 大阪市北区西天満 2-10-2 幸田ビル 407 号室  
〒604-0985 京都市中京区麩屋町丸太町下 井口ビル  
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小椋ビル

☎ 03(3265)7531 FAX (3265)4656  
☎ 06(6362)5515 FAX (6362)8882  
☎ 075(231)2093 FAX (231)3859  
☎ 092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <http://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: [info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)

eラーニングを活用した授業などにおいて、GVRL は次のような特徴でお役に立っています

#### ■どこでもどの学生にも利用させたい

全キャンパス・全学部・全授業でアクセス数無制限に利用が可能です。VPN を通じて自宅からのご利用も設定できます。

#### ■信頼性の高いコンテンツを学生に利用させたい

GVRL は専門家の編集・校閲を経た信頼性や客観性の高いコンテンツ群です。Wikipedia など Web 上のリソースに頼りがちな学生を書籍に向かわせることができます。

#### ■学生の自発的な学習を促すには？

自分自身で検索をさせることにより、自発的な学習を促すことができます。

#### ■教材・課題として活用するには？

教材として記事を選び、リストアップしてご活用ください。作成したリストは固定 URL により、Web 上やメールで共有されます。

#### ■カリキュラムに合わせて選書・購入をしたい

1 タイトルから購入ができますので、授業のテーマやカリキュラムに合わせた選書ができます。

#### ■英語のレファレンスは学生の利用が少ない。どうすれば活用できるか？

日本語を含む 8ヶ国語への自動翻訳機能が英語への抵抗感を和らげます。中国語・韓国語への翻訳機能は、留学生の利用にも供します。

#### ■国際的な視点や視野を養うためには？

日本語の資料では調べきれないことまで多く調査できます。日本以外の視点や考え方について学ぶことができます。外国から日本がどのように見られているかを学ぶことに役立ちます。

### 補助教材としての GVRL の活用例

#### 【1】あらかじめ教員が選んだ記事をリストにして使用する

例1)

テロリズム行為の社会的・心理的背景について、この[リンク](#)の5つの記事のうち、3つ以上の記事から引用しつつ、3000 字以内で論じなさい。(リンクを開くと、右のような画面が表示されます。)



#### 【2】あらかじめ教員が定めた主題に沿って、学生に検索させる

例2)

メディアと暴力との関係について、Gale Virtual Reference Library より記事を検索し、3つ以上の記事を参照したうえで、1000 字以内で論じなさい。

キーワード例: media violence, popular culture, catharsis theory

タイトルの例: [Encyclopedia of Children, Adolescents, and the Media](#), [Encyclopedia of Social Psychology](#), [International Encyclopedia of the Social & Behavioral Sciences](#).)

(タイトル名をクリックすると、各タイトルに直接リンクすることができます)

上記の活用例はあくまで一例です。GVRL を授業の教材としてご活用ください